

第 62 回 日本選手権（25m）水泳競技大会監督者会議資料

大会の参加にあたって

- (1) 各所在地の自治体や学校から、移動制限等の要請が出ていないか、最終確認を行うこと。
- (2) 入館前 2 週間において、以下の事項に該当する場合は、入館できない。出発前に入館者全員に該当がないか確認しておくこと。
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・ だるさ（倦怠感）息苦しさ（呼吸困難）
 - ・ 臭覚や味覚の異常
 - ・ 体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (3) 健康チェック表を入館者全員が持参しているか確認すること。提出できない場合は入館できない。必ず責任者が選手ならびに来場者の健康状態を確認し、確認欄に押印またはサインをすること。未記入の場合、入場を断る場合がある。宿泊を伴う場合は、当日の検温ができるように各自の体温計を持参しておくこと。
- (4) マスクを着用していない者は入館を認めないので、出発前に確認すること。
- (5) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (6) 以下のものについては、持ち込み禁止とする。
 - ・ チーム共有のドリンクサーバー
 - ・ マッサージベッド、アイシングバス、トレーニングバイク等
 - ・ メガホン、横断幕、のぼり
 - ・ 共有で使用するストレッチマット（個人専用は持ち込み可）
 - ・ チーム共有のチューブ、バランスボール等の運動用具（個人専用は持ち込み可）
 - ・ 練習時のパドル・コード類

1 競技について

- (1) 本競技会は、2020 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 予選は、A 面女子・B 面男子で、各種目男女の組数において、多い組数に合わせて行う。
- (3) 決勝は、全て A 面で行う。
- (4) 競技は、予選・決勝ともに 8 レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (5) 女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形はタイム決勝とし、最終組は決勝時間帯に行う。それ以外の種目は、予選決勝を行う。
- (6) 決勝は、予選の結果上位 8 名が出場できる。ただし棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (7) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (8) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は、2 名とする。
- (9) 招集は競技開始 10 分前から行う。本人確認のため、招集所には A D カードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (10) 予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始 20 分前（9：40）までにリゾリユーションデスクに届け出ること。時間内に届け出を行わなかった場合

は、棄権料 3,000 円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金 3,000 円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、予選競技終了後 1 時間以内に、棄権料 3,000 円を添えてリゾリユーションデスクに届け出ること。女子 800m・男子 1500m 自由形予選は、組み換えを行うことがあるので、16 日（金）15:00 までにリゾリユーションデスクに届け出ること。

- (11) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。（決勝 1 位の選手も同様）決勝 1 位の選手は、退水後、直ちにフラッシュインタビューを受けること。
- (12) 800m 自由形・1500m 自由形の周回通知は、A 面は水中ラップカウンター、B 面は周回板を使用し、コールは行わない。
- (13) 公式計時 S E I K O による計時バックアップは、A 面は水中ビデオ計時装置、B 面は半自動計時装置を使用する。
- (14) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (15) 選手紹介は、予選は組のみ紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。なお、決勝に出場する選手は、氏名、所属名の通告を受けてから入場すること。
- (16) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (17) 本競技会は、J A D A によるドーピング検査の対象となるので、常に A D カードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。ただし、上位 3 名については、優勝者のフラッシュインタビュー終了後に表彰用バックボード前で記念写真撮影を行う。
- (2) 1 位から 3 位にメダルならびに賞状を、4 位から 8 位に賞状を授与する。
- (3) 賞状の受け取りと、I D カードによる記録証の発行は、1 階レストラン側選手入場口で行う。記録証の発行時間は、10:30 から予選終了後 1 時間、決勝競技開始から決勝終了後 30 分までとする。

3 全体スケジュール

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10 月 16 日 (金)	公式練習日	11:00	練習時間 11:00 ~ 18:00				18:15
10 月 17 日 (土)	1 日目	7:15	10:00	12:00	15:00	17:50	18:30
10 月 18 日 (日)	2 日目	7:15	10:00	11:20	15:00	17:00	18:00

※ 10 月 18 日（日）競技終了後、J O C 杯の表彰を行う。

4 プールの使用について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も距離を保つこと。練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。ただし、メインプールに限り電子ホイッスルの使用は可とする。

(1) メインプール

- ① 水深は 2 m、水温は 27.5℃に設定する。
- ② 練習は、A 面は競技開始 20 分前まで、B 面は 15 分前までとする。
- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝（タイムレース決勝最終組を含む）の出場者とする。
- ④ 練習時のレーン設定
 A 面……1 レーン：ペースレーン、8 レーン：ダッシュレーン
 B 面……1 レーン：ダッシュレーン、8 レーン：ペースレーン

(2) サブプール

- ① 水温は 27.5 度に設定する。
- ② 4 レーンは折返し側からのダッシュレーンとする。
- ③ 6 レーンはペースレーンとする。
- ④ 競技中、電子ホイッスルも含めてホイッスルの使用を禁止する。

5 施設への入館・退館について

- (1) 本大会は無観客とする。ADカードを持っている選手・管理者・付添者以外は入館できない。
- (2) 選手席・付添席は、全団体ともエリアを設定する。動線を守ること。
- (3) 入退場は、すべてレストラン入口とする。
- (4) 入館前に手指の消毒、検温を受け、発熱がないことが確認できたら入館する。入館時の検温で 37.5 以上あった場合は、別の場所で再度検温する。それでも 37.5 度以上あった場合は入館できない。
入館後の退館は認めるが、その後、再入館する際は、再度手指の消毒、サーモグラフィーでの検温を受けること。その際発熱等あった場合は入館できないことがある。
- (5) 健康チェック表は、次のとおり提出・返却・回収を行う。当該競技開始までに、提出の確認がとれなかった場合、失格となる場合がある。

予選競技前（選手・管理者・付添者）

- ① 健康チェック表をチームごとにまとめて提出し、提出書類と同じ順番に並んで待機しておくこと。
- ② 一人ずつ、点呼を受けたら、ADカードを提示し、入場する。
- ③ 健康チェック表は、予選終了までに、退館時にチームの代表者が受け取りにくること。

決勝進出チーム（選手・管理者・付添者）

- ① 決勝進出チームは、予選終了までに、1階選手受付にて健康チェック表を受け取りにくること。
- ② 選手、管理者、付添者の決勝前検温を行い、健康チェック表に追記の上、決勝競技開始前までに、選手受付へ提出する。
- ③ 健康チェック表は、決勝終了後、退館時にチームの代表者が受け取って帰ること。

選手、管理者、付添者の最終日については、健康チェック表を回収する。最終日であることを申告し、健康チェック表を提出したうえで退館すること。

6 施設の使用について

- (1) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退場の際には、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000円）にて再発行を受けること。ただし管理者、付添者のADカードは再発行しない。
- (2) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (3) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。選手控え場所・観覧席で、人との距離・座席間の距離を保つこと。赤のテープのある着席禁止場所には座らないこと。
- (4) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、自分専用の物を用意し共用しないこと。したがって、室内履き、マイタオル・ハンカチ、脱いだ服を入れる袋のほか、必要であれば自分専用のストレッチマット等を持参すること。
- (5) 会場内におけるチームや個人選手付トレーナーの活動に関して、用手接触を伴うマッサージやパートナーストレッチなどは禁止とする。運動指導や救急対応（トレーナーの行

うテーピング等)は、3密を回避した状態で、感染対策を十分に行ったうえで対応可能とする。

- (6) 泳ぐとき以外は原則として常にマスクを着用すること。(更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど)。レース前にはずしたマスクは、服のポケットか袋に入れること。(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない)。招集所内では、他の選手との十分な間隔をとって、マスクを外すことができる。レース後、ミックスゾーンを通過するまでに、マスクを着用するよう努めること。
- (7) 招集所には、招集を受ける選手以外は立ち入ることは出来ない。選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (8) 更衣室は更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できない。更衣室内を控え場所としたり、飲食をしたりすることはできない。置き荷物は、忘れ物として扱う。また競技会終了後、残った忘れ物は処分する。
- (9) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (10) 大きな声での会話や声を出しての応援をしないこと。拍手・手拍子、スティックバルーンの使用は認める。
- (11) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。食事を摂取する際には個別に摂取すること。やむを得ない場合には十分な距離をとり、対面しないようにすること。また食事時の会話は控えること。ドリンクの回し飲みはしないこと。飲みきれなかったドリンクを、指定場所以外に捨てないこと。
- (12) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。ミーティング等は控えること。

7 注意事項、その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後ミックスゾーンを通り退場すること。ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外は立ち入ることはできない。立ち入り制限区域を遵守すること。
- (2) 決勝競技終了後、全ての選手権獲得者に対し、フラッシュインタビューを行う。
- (3) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設置する。
- (4) サブプールに、リザルトと映像のモニターを設置する。
- (5) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。
- (6) プログラム(予選スタートリスト入り)は、1部2,000円、決勝スタートリストは、1チーム1部を無償で配布する。
- (7) テレビ放映
テレビ朝日CSで録画放送を行う。
- (8) インターネット配信
YouTubeにて、2日間の全競技をLIVE配信する。
(日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる)
- (9) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。
 - ① SEIKO競泳リザルト速報サービス (<http://swim.seiko.co.jp/>)
 - ② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)